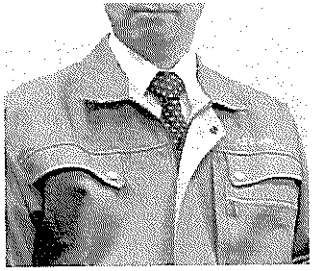
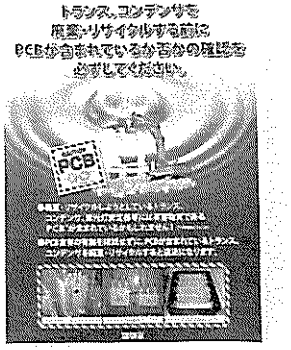
静岡版
静岡支局
(担当地域 静岡・山
〒424-0886
静岡市清水区草薙399-2
電話054(349)55
FAX054(349)55
神奈川担当
携帯070(6998)87

静岡県SS特集

生産履歴不明、有害物質含有も



鈴木宏政社長（上）環境省がＰＣＢの適正な対応を求める



長）が、有害物質の一種「ＰＣＢ（ポリ塩化ビフェニル）分析サービス」の販売を開始した。環境省ではトランス、コンデンサを廃棄、リサイクルする前にＰＣＢが含まれているかの確認を廃棄物やリサ

ＰＣＢを含む絶縁油が含まれている恐れがあると指摘。高額の処理費用の負担を避けるために偽ってＳＳ業者に、ＰＣＢ含有廃油が持ち込まれることを想定する必要がありそうだ。

天星興油は、昨秋からSS業者を含む取引先企業にPCB含有の恐れのある廃油に対する適正な対応方法を文書、口頭で説明している。同社は「トランスやコンデンサなどに使用されている絶縁油にPCBが含まれている可能性がある。PCBは毒性がとても強く、さまざまな健康被害を引き起こす。目視で確認は不可能なため、化学分析しなければ混入有無の確認ができない」としている。

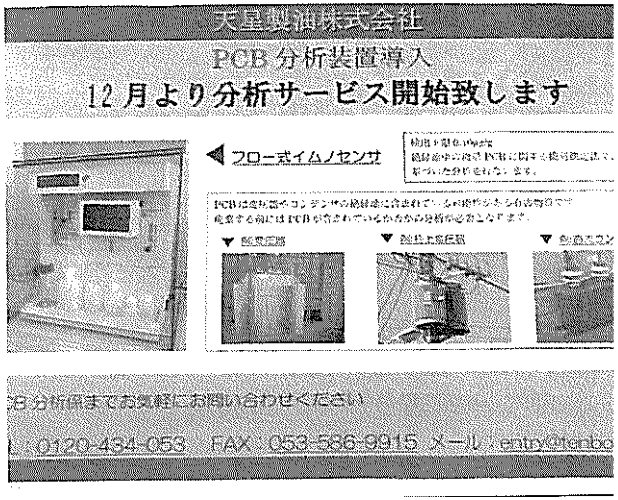
国、政府はPCB含有量の規制対象を㌘当たり0・5㍉㌘超としてPCB特別措置法を制定しており、PCBが含まれていると知らずに廃棄物、廃油などを売買・処分しても違法となる。

また次のような罰則規定が設けられている。▽平成39年3月31日までに適正な処理を行わず環境大臣または都道府県知事による改善命令に違反した場合、3年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはこれらの併科▽PCB廃棄物を譲渡または譲り受けた場合（環境省が定める場合を除く）3年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはこれらの併科▽PCB廃棄物の保管および処分について届け出を行わなかった、虚偽の届け出をした場合、6カ月以下の懲役もしくは50万円以下の罰金▽PCB保管事業者の相続、合併または分離により事業を承継した法人が承継の届け出を行わなかった、虚偽の届出をした場合、30万円以下の罰金。

同社は昨年12月から「PCB分析サービス」の販売を開始した。同社本社工場の施設内にPCB分析検出装置「フローイムノセンサ」を導入。分析業務を専門に手がけている企業を除いて廃油リサイクル関連業者がPCB分析検出装置を導入するのは静岡県内では初となる。同装置の検出下限は㌘当たり0・10マイクロ㌘、絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル、

PCB分析検出装置を導入

国、政府の指導に基づいた分析を実施している。分析費用は2万5000円（検体＝税別）。納期は検体の同社到着から7営業日。

PCB分析サービスの流れは①問い合わせ・依頼（電話・FAX・問い合わせフォームより必要事項を記入）②サンプル採取（同社よりサンプル採取キットを送付、依頼者が採取・返送）③分析（絶縁油の微量PCBに関する簡易測定マニュアルに基づいた分析を実施）④報告（報告書を指定住所へ郵送）－となっている。

同社では「環境問題で間違った対応は企業存続の命とりになる恐れがある。SS現場で発生経緯の不明な油の持ち込みを受けた場合には、注意が必要だ」と呼びかけている。